昭和二十一年十一月六日　（第三種郵便物認可）

いわき民報

發行所
社團法人いわき民報社
電話平一八三番
平市田町一番地
已上輝千人
發行兼編輯人
印刷兼
發行人
毎月曜日但月刊
日刊を除く
一部一円八十銭
一ケ月一円四十銭
定價

工場が整備しました
出版物及
一般印刷
お引受致します
いわき民報社
平市田町一七六
電話平二八一

郡民の生活改善に復興、経済推進委員會を

全町村に洩れなく設置に決定

縣通貨安定推進委員會設置の趣旨に則り經濟秩序の安定復興をはかるため貯蓄增强推進と消費節約ならびに生活改善を實施するためこんど郡下各町村に經濟復興推進委員會を設置することに決定、七日地方事務所から町村長宛通牒を發した、會長は町村長とし推進委員の人選に當つては名譽職等に囚はることなく直に積極的に指導の熱意を有するものを委囑、會長を中心として生活改善および貯蓄增强のため創意工夫し、積極的活動を實施するが特に金融機關とは密接な連絡のもとに青年會婦人團体等に呼びかけるの事項についても近く地方事務所で具体策を練る

駐在員配置決定

郡下町村五百ケ所に部落會廢止に伴つて

石城地方事務所では町内會、部落會の廢止にともない行政事務を擔當させるため郡下町村五百ケ所に町村駐在員を配置することに決定七日町村長宛通牒を發した

駐在員は囑託とし從來の町内會、部落會石城自給製鹽組合連合會の總會は八日午後一時から專賣局平出張所内に開き、なやみの種ふことになつた

駐在員は從來の町内會、部落會の長たりしたものは不適格となるが駐在員その他の費用の財源については一應從來の町内會、部落會を單位として町村に對し左記範圍の補助金が交付される見込みである、駐在員の專務費は一駐在割超過供米の報奨物資所當年二百四十圓、一萬七百二十一點が屆また駐在員の給與も專任に非るものは、割當てた、內譯左のとおりその他

人年二百四十圓の割合

作業衣上下四三九、足袋二四四、手編糸八五五、自轉車タイヤ五五〇、同チューブ五五〇、リヤカータイヤ一二二、同タイヤ一二二、同チューブ一二二、ゴム長靴一七一、總ゴム深靴三五四、地下足袋一五五一

然料確保對策

自給製鹽組合連合會總會で

石城自給製鹽組合連合會は八日午後一時から專賣局平出張所内に開き、なやみの種ふことになつた

然料の燃料確保の具体的打開策と收支決算並に役員改選等を行うことに決した、會長には現會長赤津庄兵衞氏（勿來）が有力視されている

東邦銀行改裝成る

縣支金庫事務勸銀から引繼

東邦銀行平支店は四丁目二十三番地に店舗を改裝中であつたが、綺麗に出來上つたので今回移轉した、同時に勸銀の大小小名濱とも支店で取扱つてゐたが時から專賣局平出張所縣支金庫の事務も取扱ふことになつた

母子寮を建設

平市の援護新計畫

市社會課では惠まれない母子のために溫い援護の手をと先づ母子寮なお敷地は目下物色中を建設すべく立案を急でまだ決定していないが、四月中旬平市内にいる、右計劃は早急に市會に提案六月早々着工の豫定であるが事選擧は十五日午前九市の計劃案によると建時から市役所公會堂日坪二百坪に二十五戸を本間で行う

郡下の麥作現況報告

水田裏作の大麥は極めて不良

畑作は大體七分作

郡下の麥作は水田裏作反五畝（うち田七四二畝）で大小の大麥は不良で畑作は六反九畝、畑一一〇三反六畝）小麥六千三八三六畝）で大小麥合計面積は八五パーセント强で二萬四千八百五十六反七畝（うち百十反二畝にしか達していない

なお農業會支部に報告躍起となつている、町村の被害反別左のとおつた

町村別の被害

合計五十二町歩余

泉村一三、〇（九、〇）渡邊村五、〇（一、〇）植田町、（五、〇）山田村六、六（三、〇）勿來町七、〇（五、〇）川部村一七、五（一〇、〇）田人村三三、〇（一、〇）飯野村二〇高久村一六、三（一、〇）鹿島村六、〇（一五、〇）內郷町一五、五（八、〇）好間村六〇、〇赤井村二四）勿來町七、〇（五、〇）川部村一七、五（一〇、〇）田人村三三、〇（一、〇）飯野村二〇高久村一六、三（一、〇）鹿島村六、〇（一五、〇）內郷町一五、五（八、〇）好間村六〇、〇赤井村二十四、〇（一三、〇）會議を開いて區內會廢止に伴う事務處理その他につき種々協議した

歌とタップの夕

和樂路會が民劇で十五日資金募集に

日本旅行倶樂部平班（査と今月下旬行はれる和樂路會）では資金募縣下町村長會人會につき種々附議した集のため來る十五日讀いて種々附議した夜二回ビクター專屬の音樂とタップのタを催すことに決つた、豪華プロに早くも人氣をあつめているが會員券は二十圓で三丁目大黑屋を田町磐城サロン阿康藥局白菊酒店及び交通公社で前賣する

小名濱運局開所式

來十日に行う

みなと小名濱建設の前揚として新設された東北海運局小名濱出張所では初代所長大島傳氏が先般着任以來諸準備を急いでいたがこの程全く整つたので十日午前十時から盛大な開所式を擧行することに決つた

町村長會

郡町村長會では六日午前十一時から地方事務所會議室に委員會を招集、町村議員の兩機審

湯本の春祭

湯本町の春祭縣社溫泉神社の祭典は七日宵祭りで青年會の余興あり八日本祭で終戰後初めての御神こし渡御があるので町をあげて賑つている

民生委員會

市の民生委員定例會は十日午前十時から市役所會議室に招集、要ふ助者を決定する、四月未現在のふ助者は三百六世帶の百九十七人

東配從組の新役員決定

東配平營業所從組では電產單一化に伴ないさきに解散したが、新規約にもとづき立候補制による執行委員および代議員の選擧も完了したので六日午前十時から營業所會議室で電產勞組縣支部平分會の結成大會を擧行した、新役員つぎのとおり

◎平分會執行委員長柴田勝市◎同副委員長佐藤末五郎、同浮須光藏（書記兼務）

圖太い詐欺漢

引揚連盟幹部裝つて

時は遲かつた◎同じく下旬市内五丁目某さん宅へ連盟幹部某の名刺をもつた三十前後の男が連盟でもつている山の材木をよこすから金を都合してくれと云ひ出したが、當の某さんあまりくだんの男の態度がおかしいのできつぱり斷り、難をまぬがれた

いわきすずめ言

◎郡民の生活改善、消費節約に全町村に經濟復興推進委員會を結成せしめる◎御趣旨御尤至極とは申せ、相變らずお役人方は會の三千圓相當）を受取り手廻よく貨車で某方面へ發送してしまつた、作付面積は計畫の大小麥四萬四百三十三反八畝に對して大人年二百四十圓の割合となつておりその他作業衣上衣一二一、同長袴一三四六、同シヤツ二一六一、同袴下四三五、メリヤス肌着二四四、婦人服三六七、子供服八五五、布白肌着二四四麥一萬八千四百五十三

祝新憲法施行

小名濱町長　樋口速
湯本町長　比佐源造
植田町長　渡邊國之助
四倉町長　花澤乙丸
江名町長　近藤貴一
錦村長　高木武一郎
豐間村長　馬目常吉
內郷村長　山崎龍亥
勿來町長　小松實
泉村長　吉田勝記
渡邊村長　永山貞秀
山田村長　蛭田三郎
澤渡三阪村長　永山繁義
神谷村長　神谷市郎
草野村長　富岡市平
大浦村長　酒井良平
大野村長　西山惠一
上小川下小川村長　草野虎伊
川前村長　新妻長吉
上遠野村長　荒川久馬
入遠野村長　酒井正雄
田人村長　小野庄一
飯野村長　永山亮太郎
夏井村長　青木半治郎
高久村長　鈴木正一
鹿島村長　八代義定
磐崎村長　大田原憲太郎
好間村長　鈴木榮一
赤井村長　吉田滿吉
箕輪村長　柴崎佐七
永戸村長

春蠶の掃立漸く迫る

收繭目標は一萬二千三百貫

地方事務所蠶糸課では昨年は原蠶種の手違いや種紙の不良、乾天つづき等に祟られ目標達成に至らなかつたが、いよ〳〵本年は養蠶五ケ年計劃二年度であり是非とも目的達成を期するばかりか、爾年の不足分をも取り戻さようと昨晩秋蠶終了以來萬全の策を講じていたが、今度本春蠶は一萬二千三百十貫の收繭を目標に二萬二千百六十グラムを掃立させることゝしこれが各町村割當を左の如く決定し目下のところ桑葉の發育等も先づ順調とみられている（單位瓦）

渡邊村二〇、植田町一〇〇、赤井村一〇〇、永戸箕輪村二〇〇、山田村、錦二、〇〇〇勿來町五〇上遠野村七〇〇、入遠野村一、八八〇、川部村一、〇〇〇、田人村三〇、三〇、夏井村三〇〇、高久村一〇〇、豐間町一〇〇、磐崎村二一〇、好間村二〇〇、赤井村一〇〇〇永戸箕輪村二五〇〇、澤渡三阪村四、三五〇、草野村一〇〇、大浦二三〇大野村五〇〇、上下小川村二、五〇〇、川前村二、一〇〇、平市五〇〇、合計二二、一六〇

受取は三十錢

改正印紙法から拾る

四月一日から印紙稅も改正され稅率がひきあげられた、なお本年は共同飼育等に一層の拍車をかけることにもなつたが印紙等が貼りにくいとの聲が多いが、印紙等が貼り足らないと罰せられるから御注意が大切

◉不動産など所有權移轉、消費貸借、請負運送など關する證書は記載金額百圓以下三十錢、五百圓以下圓、千圓以下二圓、一萬圓以下十圓、十萬以下二十圓、百萬圓以下百圓、百萬をこゆるもの二百圓

記載金額のないもの三十錢◉委任狀は二十錢◉約束手形證書、債券預金通帳、受取書は三十錢◉その他の通帳は五十錢◉判取帳は五圓となつており仔細は平稅務署間稅課宛問合せられたい

自家用織物の原料集荷協議

農業會石城支部では自家用織物原料集荷取扱いにつき郡下の技術員を招集十日午前九時から支部會議室に協議會を開催する

王座は依然お米

平署四月中の經濟事犯檢擧

四月中における平署の經濟事犯檢擧件數は總件數四十六件の人員五十人、內譯は食糧管理法二十九件の三十三人を筆頭に物價統制令の十二件の十二人、ついで燃料が三件三人、せんい、その他が各一件あつた、うち米が二十九件の三十三人で王座を占め酒の五件、皮革の三件、薪、炭の六件を壓倒している

煙草反別決定

平出張所二四〇町

專賣局平出張所管內の町步全所では反當收納本年の葉煙草耕作反別は左の如く正式に決定された、肥不足に對應して自給肥の增產に拍車をかけ

宅地。家賣買斡旋

龍田屋商會　平市三丁目

苗代の手入れは

から部支城石會業農

◇苗代　既に播種完了の苗代には

1風で倒れないような丈夫な風圍いをして溫くする

2掛水の水溫を上昇させるため水たため、あるいは水路う回等を行う

3燒土または燒モミがらを種まき後一週間ないし十日ごろに苗代面に坪五升內外まく

4綿腐敗病の大發生は時は深水の必要がある坪當り一夕の硫酸銅を必至であるから六斗が、實干をしないと根水三、四合にとかし深式石灰ボルート液あの發育を害し孵びなへ水のまゝのなへ代にさるいは銅製劑一號又は二號液（水一石には落水して光濁の補給が出來るから晴天の日は二號液（水一石には落水して光濁の補給みづをを入れかえると完對し百二十匁ないし百五十匁見當）をさ日や風雨の强い日は日つ布するが、その第全に防止出來る

◇苗不足對策

1本年度は植付株數のは多少除草に勞力が要增加が必要であるが、るが數量には變りがなへ不足が豫想されるい、適期は五月十五日ので豫備なへ代の設置から二十五日までの間だが六月の五日ごろまが必要だその所要なへ代面積は反當り平坦部では大丈夫だでは千坪から十五坪、山地帶は十五ないし二十坪が基準であるが今からでは二番夜溫湯二回は排水した後反當り六斗の割でさつ布し三、四時間後に普通のように水を入れる

5かん水の調節は寒いときは深水、暖いときは淺水とし夜間の低溫にふれて風邪引なへを起してなへ失せの最大原因となる

6青ミドロ（俗稱かいの綿ぼうし）ユリミズの發生が伴うからてまく

開放投書

要望批判結構紙上とく歡迎名可

物價引下げ運動

▽五月三日の新憲法施行を記念して平市でも民生活の安定を圖ることゝ思ふが私はこの機會に强力な物價引下げ運動の展開を提唱したい、體育や文化に關する記念行事ももとより結構である金、俸給生活者のみで一方法として物價引下げ運動の强力な展開をが、新憲法の大きなねはなくて、商業者や製造業者も深刻な脅威をらひである民主々義政治の確立は國民生活安定の裏づけなくしては定の實現不可能であるからげられんことを要望す

▽インフレとヤミにあらないのだ全市民相協力してインフレ撲滅の第一着手として物價引下げ運動を眞劍にとりあ

▽この運動がすでに關西に始まり關東その他の地方にひろがりしかも相當の成功をおさめつゝあることは新聞報導の通りだ市政の一大眼目が市民生活の安定にあるとの信念をもつ

新市長が明朗平市建設し、大自然の骨格が峰から峰に續くあたりは局長の郵便配る青田道

おし蟬の羽ばたいてゆく殘暑哉

夜は蛙の聲近く、ふくろうの無氣味な鳴き聲に夢を驚かすことも珍らしくない。空には

いろ〳〵のトンボや蝶々が、地上には八千草が咲き亂れている

秋草の名を覺えたり

山の宿

松笠もたいて枝豆うでにけり

やがて紅葉も散つて山々が僞らぬ姿を現は

生活と文化

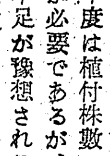
桃李の花をあとに

吉屋貞一

戰災のため東京の家じやがいもが珍しくなを燒け出された私達が小川村にたどり着いたのは二年前の春であつた。赤い桃、白い梨の花が、青みがかつた野山をいろどり、苗代はここかしこに種まく人の動きが見えたのである。それから困窮の疎開生活が始まり衣食住のどれも是も不自由の經に月日が流れてゆく蛇苺ふんで草つむ女たち

かまど塗る土に混りて春の草

やがて田から堀起さる玉のように滑かな



藥

のことならー
キクので評判

ダルマ藥局
小名濱町電222番

電球

斷線修理

三輪商會
田町銀座通電169

醫藥用、化學用、其他硝子製品一式

新星硝子工業株式會社
平市佃町
電七一四番

募集　給仕婦さん

喫茶店
ピス
エ本町裏
湯

醫藥用、化學用、其他硝子製品一式

新星硝子工業株式會社
平市佃町
電七一四番

高級ライター

數種入荷

萬年筆

高級プラチナ萬年筆販賣中
▲修理は親切丁寧に▼
平市三丁目電二九九番

純正部分品

ダイハツ

特約販賣店

ダットサン・マツダ部分品
各種タイヤー修理
小型蓄電池販賣
電氣並酸素鎔接工業

合資會社千葉タイヤー商會
平市新川町（電七八番）

レントゲン科

內科
平市一丁目四九

谷口醫院
谷口孝雄

洗劑は即ち汚れを落す

石鹼は水質の悪い所では駄目
硬度の高い井戸水は不溶解性である

サクラ洗劑は！

井戸水、溫泉、どこにも適し能く洗淨性に富み垢や汚れ、油脂、ペンキ等自然分離せしめる特長をもつ

六キロ木箱入（石鹼六十個分）三十六圓

サクラ洗劑化學工業所
所長　櫻井忠治
小名濱町明神町一〇專務所電一八三番

キモノと洋服

最高價買入

平驛前白銀通り
福屋
（配給通帳と印鑑御持參下さい）

◇小型自動車修理部◇
くろがねダットサン
ダイハツ
平警察署前通
三浦商會
電八六四番